

湿生植物

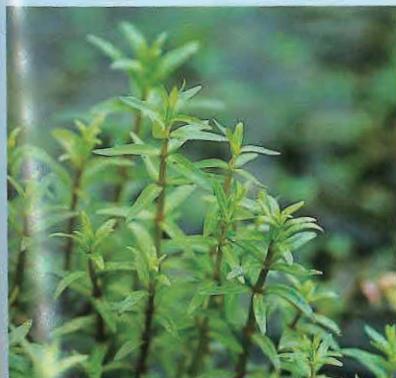
湿原や水辺に自生するのが湿生植物。湿原には低層と高層があり、形態や性質の異なる植物が豊富です。



ミゾハギ
Lythrum anceps

ミゾハギ科 多年草

本州以南の沼地や水田など湿った明るい場所に生育する。6~8月にかけて紅紫色の花を次々とつける。花期は長い。花弁にはしわがあり、よく似たエゾミゾハギは毛があるので区別できる。



ミズトラノオ
Eustralis yatabeana

シソ科 多年草

温暖域の水辺に生える多年草で、西日本、南アジア、オーストラリアなどに分布する。赤紫色に染まる花穂が虎の尻尾に似ていることから和名がつけられた。地下茎を伸ばして増殖し、茎は高さ30~50cmに直立する。

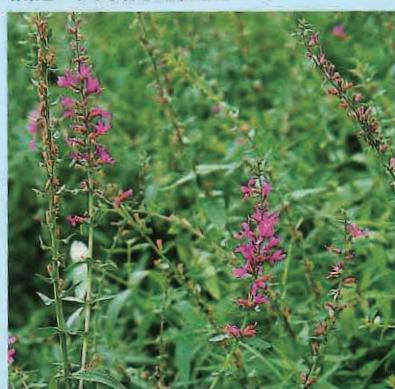


ウォーターバコバ

Bacopa caroliniana

ゴマノハグサ科 1年草

北米の温暖域の湿地や沼地に自生する。地下茎は匍匐し、水中茎は横に伸びて生長していく。丸みのある淡いグリーンの葉を密につけるのが本種の特徴。また、青紫色の小さな花を隨所に咲かせる。



エゾミゾハギ

Lythrum salidaria

ミゾハギ科 多年草

紅紫色の花が密生して花穂状になる。古くから切り花用、庭園用に使われてきた。本種はやや大型でいくつかの品種があり欧州でも栽培されているほど。花の寿命は短いが次々に咲くので、長期間観賞できる。

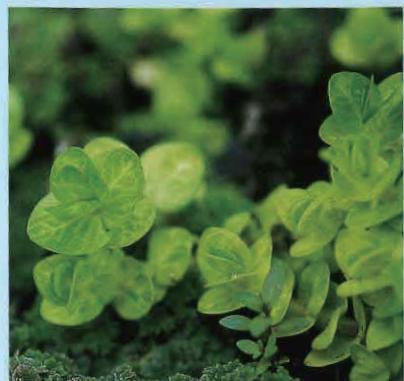


ミズネコノオ

Eustralis verticillata

シソ科 1年草

国内と南アジアに分布。先端が尖った細長い葉の茎頂部には長さ2~5cmの花穂を出し、淡紫紅色の小花を密につける。ミズトラノオに似るが、本種は花穂全体が紫色で茎がよく分枝することで区別できる。

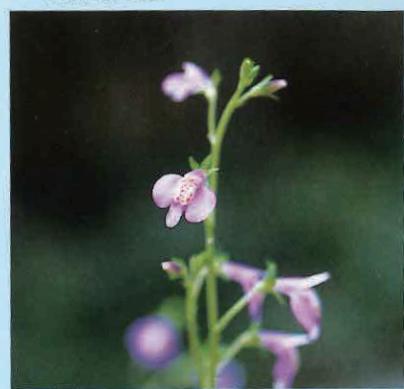


イエローバコバ

Bacopa lanigera

ゴマノハグサ科 1年草

南米に分布するバコバの仲間で湿地に自生する。ウォーターバコバ同様、茎は地面をはい、緑色の葉に黄色い葉脈が入った葉を密につける。茎の先端には淡い紫色の小さな花を咲かせる。



ムラサキサギゴケ

Mazus miquelianii

ゴマノハグサ科 多年草

本州以南の日本各地に分布する多年生草本。湿った草地や水田などに群落をつくる。春になると紫色の可憐な花を複数つける。白色の花をサギゴケ、紫色のものをムラサキサギゴケとして区別していたことがある。



エンコウソウ

Caltha palustris

キンポウゲ科 多年草

山地の湿地に生える多年草。漢字だと「猿猴草」となるが、それは長くはう茎の様子を手長猿の手足になぞらえたもの。4~6月に、茎の先端に厚みのある濃い黄色の花を無数に咲かせる。